

当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

【研究課題名】

Stage III/IV 胃癌患者の術前後好中球リンパ球比及び単球リンパ球比と長期予後に関する検討

【目的】

進行胃癌の予後予測は治療方針の決定や治療効果の予測に有用とされています。腫瘍免疫（がん細胞に対する免疫機構）は腫瘍進行と密接な関連性があり、好中球リンパ球比や単球リンパ球比は日常診療で採取される血液検査から算出される簡便な予後予測因子として報告されており、いずれも高値群は予後増悪と関連しています。この研究では、Stage 3/4 の胃癌患者さんにおける手術前後の好中球リンパ球比と単球リンパ球比の長期予後予測因子としての有用性を検証します。

【対象】

1992年10月～2018年12月までに当院において胃癌に対し根治的手術を行った方

【方法】

診療記録より当院研究担当医師が情報を収集し、調査票へ入力します。入力したデータは研究代表者の所属する横浜市立大学市民附属病院 消化器病外科の医局へメールにて送信され、保管されます。その後、研究代表者や統計解析担当者によって解析されます。この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがあります。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は匿名化するため、氏名などの特定の個人を識別できるような情報が外部に漏れることはありません。

【利用する試料・情報】

診療記録（年齢、性別、診断名、身長、体重、既往歴、臨床病期、術前化学療法の有無、臨床検査値、治療内容（投与薬剤、術式、再建方法、手術時間、出血量、術者、郭清リンパ節個数）、病理学的所見（HER2 タンパク発現、深達度、リンパ節転移個数、脈管侵襲）、治療効果、予後 等）

【研究期間】

倫理委員会の承認が得られてから 2021年12月31日まで

【研究代表者】

横浜市立大学附属病院 消化器病外科 佐藤 渉

【共同研究機関】

横浜市立大学附属病院、横浜市立大学附属市民総合医療センター、横浜市立市民病院

【当院の研究責任者】

消化器外科 高橋 正純

横浜市立市民病院 〒240-8555 横浜市保土ヶ谷区岡沢町 56

電話 045-331-1961（病院代表） 消化器外科 高橋 正純

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。

また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。